

川北町国民健康保険 保健事業実施計画(データヘルス計画)の概要

◆特定健診

	川北町	県平均	同規模平均
受診率	53.6%	42.1%	38.1%

※ 特定健診受診率は国・県・同規模自治体と比べ高い状況であるが、40歳～54歳の各年齢では、受診率が50%以下となっている。

◆メタボリックシンドローム

	川北町	県平均	同規模平均
該当者	16.5%	17.9%	16.7%
うち男性	27.4%	28.0%	24.8%
うち女性	6.8%	10.9%	9.8%

※ メタボリックシンドロームの該当者は男性で同規模自治体の平均より高くなっている。

(上記より)

生活習慣病予防のため、特に男性に積極的に特定健診の受診勧奨する必要がある。

(主な事業内容)

- ・ 複数年にわたり健診を受診していない者を抽出し、通知や電話、訪問等により受診勧奨を実施する。
- ・ 広報やCATV文字放送などを利用して周知を図る。

(参考)

健診受診者の生活習慣病治療費	20,339円
健診未受診者の生活習慣病治療費	25,272円

◆一人当たりの医療費

	川北町	県平均	同規模平均
医療費	26,316円	26,816円	24,550円
うち外来	53.9%	54.7%	56.4%
うち入院	46.1%	45.3%	43.6%

※ ひと月80万円以上の高額になる疾患については、脳血管疾患が全体の14.3%を占める。

※ 6か月以上の長期入院においても、脳血管疾患が費用額の10.2%を占める。

※ 長期療養を要する人工透析の分析において、人工透析にはいたっていない糖尿病性腎症、糖尿病の重症化を予防することで、新規透析導入者を減らすことができる。

◆介護保険

	川北町	県平均	同規模平均
1号認定者数(認定率)	19.2%	20.0%	19.6%
1件当たり給付費	76,023円	71,832円	71,981円

※ 原因疾患は脳血管疾患等の血管疾患がほとんどを占めている。

(上記より)

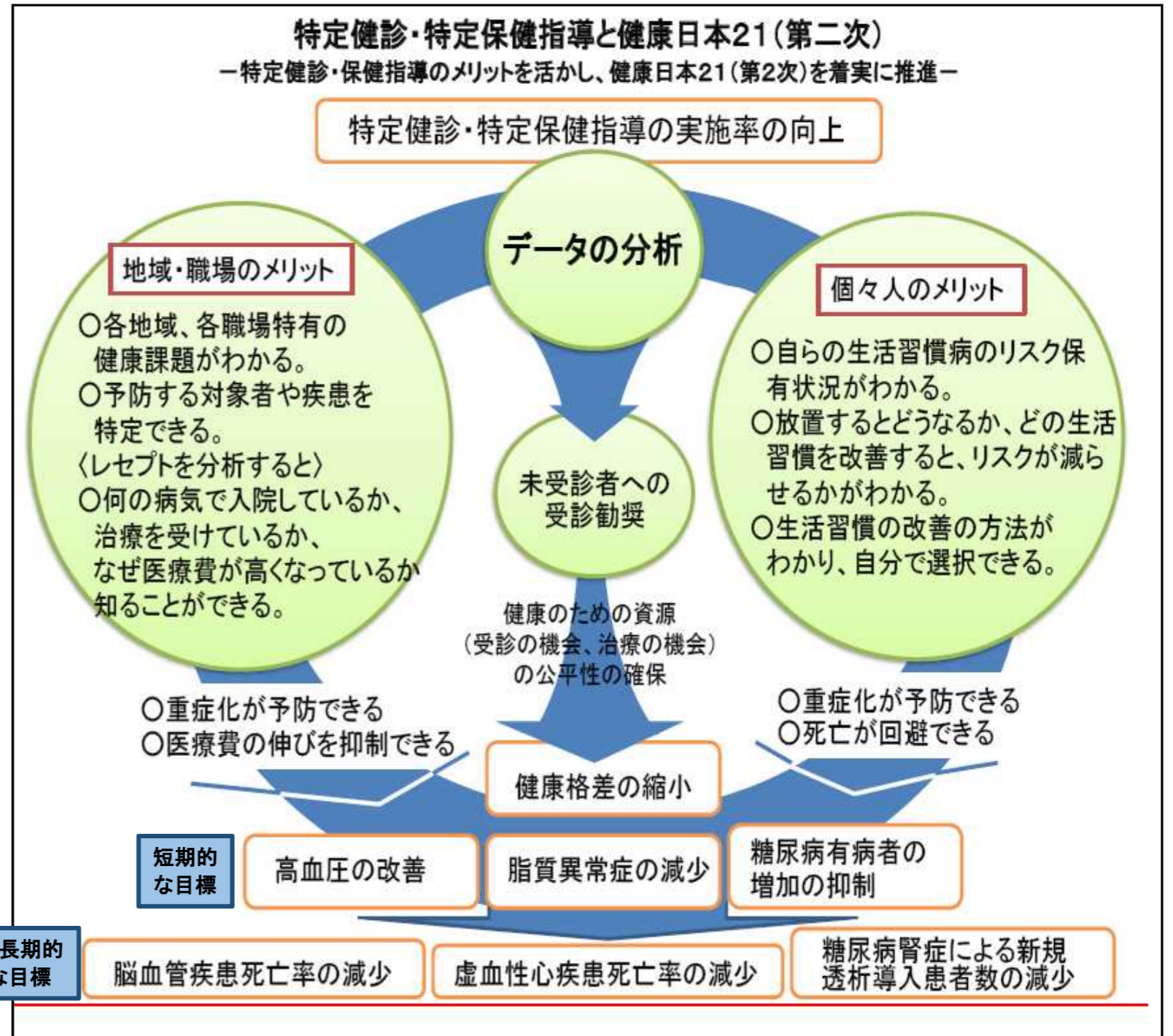
介護給付費や医療費を高くしている疾患は脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症であり、それらの基礎疾患である高血圧や脂質異常、高血糖、メタボリックシンドロームを重症化予防の最優先事項として取り組む。

(主な事業内容)

- ・ 健診によって、生活習慣病の発症リスク・重症化リスクを発見し、生活習慣の改善や治療・受診行動でリスクを少なくすることが可能であることを対象者が理解できるよう支援する。
- ・ 必要に応じて、医療機関との連携のもと、生活習慣改善に向けた保健指導、栄養指導を行う。

保健事業実施計画(データヘルス計画)とは・・・

・ 健診や医療、介護の情報を分析・活用して地域にあった効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための実施計画
計画期間:平成27年度～29年度



◆その他の保健事業

- ・ COPD(慢性閉塞性肺疾患)の予防
- ・ 子どもの生活習慣病の予防
- ・ 重複受診者への適切な受診指導
- ・ 後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進

PDCAサイクルに沿った保健事業の実施

